とが難しい貴重

今 回

は、

地域の文化財の魅力を再

1発見

な文化財

を、

会場でじつくりとご覧いた

り組みについてご紹介します。出土品展は、 する「坂戸市埋蔵文化財出土品展」の取

です。

文化財が持つ魅力や学術的な価

値 実

シをア 丸

年報だけでは伝えきれ

ない、

物

だけるのも、

出土品展ならではの楽しみ

評をいただいています。 度の展示企画で、 近年の発掘調査の成果を紹介する年に一 毎年多くの方からご好

実物の魅力を間近で

研究成果なども紹介しています。 の土器などを展示し、 年報で紹介した遺跡から出土した本物 毎年刊行しています。 をまとめた冊子 歷史民俗資料館 『埋文さかど年報』を では、 あわせてその後の 出土品展では、 発掘調査 成 果

した。 地域の古墳時代の様子について紹介しま に発掘調査が行われている入西・ 古墳展」と題して、 に開催した第二六回出土品展では「大 た展示にも挑戦しています。 近年は特定の遺跡や時代をテーマにし 最新の研究成果をお届けするため、 れている入西・大家を長年にわたって盛ん 今年の夏

墳 財 「入西石塚古 | 展示の目玉となった坂戸市指定文化

土遺物

解説資料を公開中

坂戸市HPで

ため、 を少 設で展示するこ 料館内の保管庫 割 式 ています。 厳重に保管さ れによる劣化 んでも防ぐ 普段は資 サビや

展示を見逃した

より多くの人に届けたい

なって展示を作り上げています。

ピールするために、

学芸員全員で

います。会場確保などの課題から現状では 多くの方に展示をご覧いただけるよう、 てほしい」というご意見もたくさん頂いて なっていますが、 在は開催時期や広報活動といった点から、 会期を延長することは難しいものの、 工夫を重ねています。 出 土品展の会期は、 「開催期間をもっと長くし 例年一 週間程 より 度 現

まっています。 三芳野地区の古墳文化にせまるテーマ展 「大古墳展2」を予定しています。 期待下さい 次の出土品展の準備は、 来年度は、 勝ずでにお

そんな方に朗報です

こちらから 1

出土品展・企画展示などの展示解説 資料を PDF 版でご覧いただけます

期 5

企画展示「村の鍛冶屋さん」

図や、 開!入西の小山地区で営業していた鍛冶屋資料館に寄贈された鍛冶道具を一挙公 地域の様子について紹介します。 仕事 五日(月)から四月一九日(金 館 道 近 います 隣の発掘調 具のほか、 階ホールで、 ※入場無料 江 査成果から、 戸時代~戦 令和 六 年 少し昔 までを 前 の絵 月

土した赤い土器「土師い展示を開催しています。 器 出 入西地域交流センターで、 地 区)の発掘調 長岡遺跡にもたらされた土器に 査成果を紹介する出 古代集落から出 長岡遺跡(長

張

をやさしく解説してい 徴 学作 ŋ 方の違う

は令 和 までを予 六年 ※入場 九



無料 回ご紹介

ます。 定しています 月 九日(月) 示

入西石塚古墳出土

長頸

遺物です。 品展にも展示された 鉄る入り 度の埋蔵 鉄鏃です。 令和五人西石塚古墳出− 文化財 矢じり いするのに 出 五. 土の (鏃 土 年

狩猟が

るまで使われています。 や戦争の道具として、 して作った鉄鏃という流れがあります 旧石器時代から現代にいた。は材料を変え、狩猟 主な進化の方向として、

学芸員のイチオシ

見ら 葬する組合せが全国的に主流となっていました。 型で扁平な平根系鉄鏃と呼ばれる鏃に大別できま たと分かります。 wは、細長い部分を持った長頸鏃や短頸鏃と、大入西石塚古墳の作られた古墳時代中期後葉の鉄 西 そして長頸鏃を多数と平根系鉄鏃を少 石 塚古 墳出土の鉄鏃でもこの組み合わせが 周辺も全国的な潮流のなかにあっ 山 数 副

下

いる半

鐘は、

手

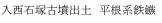
すりと屋

脚

の櫓には六角形の見

うが施されています。





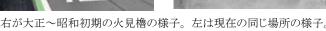
連 載

で多く建設されました。 (石井地) 危険を知らせるための鉄製火見櫓が各地 れて以降、 明 治時代に近代的な消防組織が整 は、 区 火災をいちはやく察知し地域に 勝呂消防 をご紹介します。 組 第 部 0 火 見 備 櫓

灰色の土

様子を撮影した古写真が残されています。 勝呂駐在所の隣に建っていた勝呂消防 部の火見櫓もそのひとつで、 かつての







根には鉄線をくるりと丸めた 在の防災無線のような 櫓の中に下がって 張り台がつ 坂戸市立歴史民俗資料館だより 第6号

【発行】坂戸市立歴史民俗資料館 令和 5 年 1 1 月 3 0 日 〒350-0212

埼玉県坂戸市石井 1800-6 049-284-1052 049-284-1128

【利用案内】 人館無料・月曜日~金曜日 開館 (祝日・年末年始のぞく) 午前9時~午後4時



アの宿通り 櫓は、 の写真を所蔵しています ていますが、 紹介した火見櫓も平成二五年に撤 区に一基が残るのみとなっています。 見櫓が存在していましたが、 されました。 競うようにして多彩なデザインの櫓が建 そびえる火見櫓は地域のシンボルでもあ 合図が決まっていました。 役割を果 長年まちを見守ってきた市内各所の (薬師町地区)などに建っていた火見 かつて坂戸市内には三〇基以上 老朽化のため近年撤去が進んでい 19(仲町地区)や坂戸小学18から、資料館ではこのほかにも、 記録された姿は消防活 出火 • 鎮 まちなかに高く 火などによって 現在は森 小小学校 法。会別を表している。 火見 坂 設

尽力した地域の 伝えています。 、々の熱意と誇りをいまに